

2024年11月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月19日

上場会社名 株式会社大伸社 上場取引所 東
コード番号 9169 URL https://www.daishinsha.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 上平 泰輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 富田 大輔 (TEL) 06(6976)5550
中間発行者情報提出予定日 2024年8月19日 配当支払開始予定日 -
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期中間期の連結業績 (2023年11月21日~2024年5月20日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期中間期	3,307	△1.3	87	△49.4	114	△36.3	86	△15.1
2023年11月期中間期	3,349	-	173	-	179	-	102	-

(注) 中間包括利益 2024年11月期中間期 147百万円 (△8.7%) 2023年11月期中間期 161百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期中間期	35.40	-
2023年11月期中間期	41.67	-

(注) 1. 2022年11月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2023年11月期中間期の対前年同期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期中間期	6,650	3,219	48.3
2023年11月期	6,660	3,098	46.5

(参考) 自己資本 2024年11月期中間期 3,210百万円 2023年11月期 3,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	0.00	15.00	15.00
2024年11月期	0.00		
2024年11月期(予想)		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想 (2023年11月21日~2024年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,943	6.6	180	24.5	200	△7.4	120	△21.7	48.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年11月期中間期	2,640,000株	2023年11月期	2,640,000株
② 期末自己株式数	2024年11月期中間期	189,180株	2023年11月期	189,180株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年11月期中間期	2,450,820株	2023年11月期中間期	2,450,820株

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2023年11月21日から2024年5月20日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の沈静化により、社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費やインバウンド需要が回復するなど、緩やかな景気回復の動きがみられる一方で、ウクライナ情勢の長期化、資源価格の高騰、円安による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。このような経営環境の中、当社グループは以下の4つの事業セグメントについて企業活動を行ってまいりました。

1. Marketing Produce事業(マーケティングプロデュース)
2. Printing事業(プリンティング)
3. Design Research事業(デザインリサーチ)
4. BPO事業(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(Marketing Produce事業)

Marketing Produce事業(マーケティングプロデュース)においては、デジタルマーケティングやMA(マーケティングオートメーション)関連、SDGsの戦略策定から運用、企業のブランディング支援など当社グループの得意とする分野の受注が増えた一方で外注比率の高い案件が増加した結果、売上高は2,494,853千円(前期比1.4%増)となり、セグメント利益は47,336千円(前期比19.5%減)となりました。

(Printing事業)

Printing事業(プリンティング)においては、新たに美術印刷や写真集、図録印刷の分野を拡大しましたが資材等のコスト高の影響もあった結果、売上高は461,223千円(前期比12.2%増)となり、セグメント利益は17,532千円(前期比19.7%減)となりました。

(Design Research事業)

Design Research事業(デザインリサーチ)においては、大手企業を中心にCXのケイパビリティ向上を目指したトレーニング案件や、CXを差別化のポイントとして考える個別プロジェクトを受注しましたが主要クライアントでの納期延期等が発生した結果、売上高は320,033千円(前期比30.0%減)となり、セグメント利益は16,441千円(前期比81.4%減)となりました。

(BPO事業)

BPO事業(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)においては、既存顧客の契約継続の結果、売上高は8,423千円(前期比6.1%増)となり、セグメント利益は2,851千円(前期比98.7%増)となりました。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は3,307,024千円(前期比1.3%減)、営業利益は87,686千円(前期比49.4%減)、経常利益は114,030千円(前期比36.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は86,754千円(前期比15.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ10,433千円減少し、6,650,042千円となりました。これは主に、現金及び預金が310,388千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が287,795千円、棚卸資産が66,108千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ130,983千円減少し、3,430,898千円となりました。これは主に、未払費用が48,495千円増加した一方、支払手形及び買掛金が107,727千円、流動負債のその他に含まれる未払金が105,547千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ120,549千円増加し、3,219,144千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益86,754千円を計上したことに伴う利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加51,574千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ370,368千円増加し、1,201,329千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、418,642千円の収入(前中間連結会計期間は299,658千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益121,277千円、売上債権の減少額273,439千円、棚卸資産の減少額66,108千円等の資金の増加があった一方で、仕入債務の減少額105,230千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,019千円の収入(前中間連結会計期間は277,244千円の支出)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入64,980千円、保険積立金の解約による収入41,556千円等の資金の増加があった一方で、保険積立金の積立による支出89,083千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、61,216千円の支出(前中間連結会計期間は63,018千円の支出)となりました。その内訳は、長期借入金の返済による支出26,256千円、配当金の支払額36,762千円等であります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月19日に公表いたしました2024年11月期連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年11月20日)	当中間連結会計期間 (2024年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,000,536	1,310,924
受取手形、売掛金及び契約資産	1,605,423	1,317,628
棚卸資産	280,557	214,449
その他	139,636	92,774
貸倒引当金	△4,070	△3,947
流動資産合計	3,022,083	2,931,828
固定資産		
有形固定資産	467,900	451,722
無形固定資産		
のれん	124,029	107,116
その他	57,157	63,823
無形固定資産合計	181,187	170,939
投資その他の資産		
投資有価証券	1,000,206	1,035,152
保険積立金	584,338	636,039
投資不動産(純額)	761,317	754,475
その他	649,368	675,660
貸倒引当金	△5,926	△ 5,777
投資その他の資産合計	2,989,305	3,095,551
固定資産合計	3,638,393	3,718,214
資産合計	6,660,476	6,650,042

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年11月20日)	当中間連結会計期間 (2024年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	671,687	563,960
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	52,512	52,512
リース債務	16,454	16,572
未払費用	292,387	340,883
未払法人税等	49,341	60,436
その他	339,069	250,280
流動負債合計	1,971,452	1,834,644
固定負債		
長期借入金	297,588	271,332
リース債務	94,821	86,505
役員退職慰労引当金	177,403	191,859
退職給付に係る負債	919,177	920,917
その他	101,439	125,638
固定負債合計	1,590,429	1,596,253
負債合計	3,561,881	3,430,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	82,795	83,716
利益剰余金	2,918,367	2,968,359
自己株式	△90,951	△90,951
株主資本合計	3,010,211	3,061,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,284	217,858
退職給付に係る調整累計額	△77,900	△68,917
その他の包括利益累計額合計	88,383	148,941
非支配株主持分	—	9,078
純資産合計	3,098,594	3,219,144
負債純資産合計	6,660,476	6,650,042

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

① 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年5月20日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月21日 至 2024年5月20日)
売上高	3,349,798	3,307,024
売上原価	2,306,814	2,330,077
売上総利益	1,042,983	976,947
販売費及び一般管理費	869,637	889,260
営業利益	173,346	87,686
営業外収益		
受取利息	1,917	5,646
受取配当金	9,397	11,080
保険解約益	135	4,425
為替差益	—	9,188
その他	45	742
営業外収益合計	11,495	31,084
営業外費用		
支払利息	3,056	4,468
為替差損	2,614	—
その他	45	272
営業外費用合計	5,716	4,740
経常利益	179,125	114,030
特別利益		
投資有価証券売却益	3,551	13,189
特別利益合計	3,551	13,189
特別損失		
投資有価証券評価損	—	5,942
特別損失合計	—	5,942
税金等調整前中間純利益	182,677	121,277
法人税、住民税及び事業税	144,658	59,936
法人税等調整額	△64,113	△25,412
法人税等合計	80,544	34,523
中間純利益	102,133	86,754
親会社株主に帰属する中間純利益	102,133	86,754

②中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年5月20日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月21日 至 2024年5月20日)
中間純利益	102,133	86,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,431	51,574
退職給付に係る調整額	12,808	8,983
その他の包括利益合計	59,240	60,557
中間包括利益	161,373	147,312
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	161,373	147,312

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2022年11月21日 至 2023年5月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	100,000	82,795	2,801,942	△90,951	2,893,785
当中間期変動額					
剰余金の配当			△36,762		△36,762
親会社株主に帰属する 中間純利益			102,133		102,133
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	65,370	—	65,370
当中間期末残高	100,000	82,795	2,867,312	△90,951	2,959,156

	その他の包括利益累計額			純資産 合計
	その他有価証 券評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	77,370	△91,591	△14,221	2,879,563
当中間期変動額				
剰余金の配当				△36,762
親会社株主に帰属する 中間純利益				102,133
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	46,431	12,808	59,240	59,240
当中間期変動額合計	46,431	12,808	59,240	124,611
当中間期末残高	123,801	△78,783	45,018	3,004,175

当中間連結会計期間(自 2023年11月21日 至 2024年5月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	100,000	82,795	2,918,367	△90,951	3,010,211
当中間期変動額					
剰余金の配当			△36,762		△36,762
親会社株主に帰属する 中間純利益			86,754		86,754
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動		921			921
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	921	49,992	—	50,913
当中間期末残高	100,000	83,716	2,968,359	△90,951	3,061,124

	その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産 合計
	その他有価証 券評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	166,284	△77,900	88,383	—	3,098,594
当中間期変動額					
剰余金の配当					△36,762
親会社株主に帰属する 中間純利益					86,754
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動					921
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	51,574	8,983	60,557	9,078	69,636
当中間期変動額合計	51,574	8,983	60,557	9,078	120,549
当中間期末残高	217,858	△68,917	148,941	9,078	3,219,144

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年5月20日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月21日 至 2024年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	182,677	121,277
減価償却費	32,944	45,044
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,551	△13,189
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,942
のれん償却額	16,913	16,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△122
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	22,953	6,484
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△73,837	14,456
受取利息及び受取配当金	△11,315	△16,726
支払利息	3,056	4,468
売上債権の増減額(△は増加)	224,411	273,439
棚卸資産の増減額(△は増加)	△20,092	66,108
仕入債務の増減額(△は減少)	△104,474	△105,230
その他	121,282	14,476
小計	390,952	433,340
利息及び配当金の受取額	11,390	16,608
利息の支払額	△2,957	△4,245
法人税等の支払額	△99,725	△27,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,658	418,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△228,062	—
定期預金の払戻による収入	33,062	64,980
有形固定資産の取得による支出	△13,002	△16,965
無形固定資産の取得による支出	△19,448	△19,504
投資有価証券の取得による支出	△28,596	△3,100
投資有価証券の売却及び償還による収入	24,779	30,169
保険積立金の積立による支出	△69,814	△89,083
保険積立金の解約による収入	24,477	41,556
その他	△641	△1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,244	7,019

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年11月21日 至 2023年5月20日)	当中間連結会計期間 (自 2023年11月21日 至 2024年5月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△26,256	△26,256
リース債務の返済による支出	—	△8,198
配当金の支払額	△36,762	△36,762
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 売却による収入	—	10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,018	△61,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	△662	5,921
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,266	370,368
現金及び現金同等物の期首残高	1,179,980	830,961
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,138,714	1,201,329

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社を基礎としたセグメントから構成されており、

1. Marketing Produce事業(マーケティングプロデュース)
2. Printing事業(プリンティング)
3. Design Research事業(デザインリサーチ)
4. BPO事業(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「Marketing Produce 事業」は、主に企業のコミュニケーションツールの企画制作、店舗・ショールームなどの空間デザインと集客支援、商業施設集客イベントの企画運営などを通じた様々なプロモーション活動の支援を行っております。「Printing 事業」は、主にオフセット枚葉印刷機による印刷を中心とした印刷物の生産を行っております。「Design Research 事業」は、主に定性リサーチによるユーザーインサイトの提供と、デザイン思考の手法・プロセスを使った各種開発支援、既存事業の顧客体験改善・変革支援を行っております。「BPO 事業」は、主に当社グループ各社向けに、人事・経理・総務を中心とした管理業務の受託を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前中間連結会計期間(自 2022年11月21日 至 2023年5月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 財務諸表 計上額 (注)3
	Marketing Produce	Printing	Design Research	BPO	計				
売上高									
一時点で移転される財 又はサービス	—	410,899	—	—	410,899	—	410,899	—	410,899
一定期間にわたり移転 される財又はサービス	2,459,287	—	456,948	7,938	2,924,175	14,723	2,938,898	—	2,938,898
顧客との契約から生じ る収益	2,459,287	410,899	456,948	7,938	3,335,074	14,723	3,349,798	—	3,349,798
外部顧客への売上高	2,459,287	410,899	456,948	7,938	3,335,074	14,723	3,349,798	—	3,349,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53,623	457,032	17,698	87,404	615,758	—	615,758	△615,758	—
計	2,512,911	867,932	474,646	95,342	3,950,833	14,723	3,965,556	△615,758	3,349,798
セグメント利益	58,826	21,839	88,406	1,435	170,507	4,188	174,696	△1,349	173,346
その他の項目 減価償却費	6,563	4,024	608	161	11,358	4,298	15,657	17,286	32,944

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸事業であります。また、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入は重要性がないため、顧客との契約から生じる収益に含めております。

2. セグメント利益の調整額△1,349千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

減価償却費の調整額17,286千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

5. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

当中間連結会計期間(自 2023年11月21日 至 2024年5月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 財務諸表 計上額 (注)3
	Marketing Produce	Printing	Design Research	BPO	計				
売上高									
一時点で移転される財 又はサービス	—	461,223	—	—	461,223	—	461,223	—	461,223
一定期間にわたり移転 される財又はサービス	2,494,853	—	320,033	8,423	2,823,311	22,490	2,845,801	—	2,845,801
顧客との契約から生じ る収益	2,494,853	461,223	320,033	8,423	3,284,534	22,490	3,307,024	—	3,307,024
外部顧客への売上高	2,494,853	461,223	320,033	8,423	3,284,534	22,490	3,307,024	—	3,307,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,041	365,164	3,019	90,217	501,441	—	501,441	△501,441	—
計	2,537,894	826,387	323,052	98,640	3,785,976	22,490	3,808,466	△501,441	3,307,024
セグメント利益	47,336	17,532	16,441	2,851	84,161	8,233	92,394	△4,707	87,686
その他の項目 減価償却費	8,136	11,833	619	152	20,741	6,842	27,583	17,460	45,044

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸事業であります。また、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入は重要性がないため、顧客との契約から生じる収益に含めております。

2. セグメント利益の調整額△4,707千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

減価償却費の調整額17,460千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

5. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費等の関連費用は配分しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。